雄　飛

向陽高校進路便り　第 47 号
平成 28 年 9 月 12 日(月)
～臥龍鳳雛～

２１期生センター試験まで
125！

模試名：第１回ベネッセ・駿台マーク模試（９月）実施要項
対象学年：３年（必修）・過卒生
実施日：９月１７日（土）　　７：３０集合

教科	時間	備考
準備･説明	７：４０～７：５０	
国語（８０分）	７：５０～９：１０	必　須
数学①（６０分）	９：２５～１０：２５	必　須
数学②（６０分）	１０：４０～１１：４０	必　須
英語（８０分）	１１：５５～１３：１５	必　須
昼食１３：１５～１４：０５		
リスニング（３０分）	１４：０５～１４：３５	必　須
理科（６０分）	１４：５０～１５：５０	科目選択
地歴・公民（６０分）	１６：０５～１７：０５	科目選択
理科（６０分） 地歴・公民（６０分）	１７：２０～１８：２０	科目選択
自己採点	１８：２０～１９：００	終わり次第下校

完全下校１９：１５厳守！

●現役生は制服着用
●机上は筆記用具のみ
●携帯等のマナー遵守

※１・２年生の模試との兼ね合いでリスニングの試験時間が午後となります。
※受験カードは１週間前より配布します。各自志望大学等の記入をお願いします。
なお、毎回記入ミスが多いので、説明書をよく読み、よく聞き、よく注意して書くように！

※日本史Ｂ受験者へ：「①近代産業の発展と近代文化まで」を選択解答してください。
※今回の模試は、「世界史Ａ・日本史Ａ・地理Ａ」も受験可能です。受験希望者は９月１５日までに直接「模試係り島袋」まで申し出てください。

模試係からのお願い：

1. 事前に志望校をしっかり考えてください。
   国公立私大・短大と会わせて最大８校まで可　　※前期、後期、併願をしっかり考えて下さい。
2. 毎回センター本番と思ってください。
   ①体調管理（後日受験原則なし）　②時間配分　③鉛筆使用（黒鉛筆 HB、H、F）
   ④記入ミスがないように常にチェック！
3. 事前事後の過程を大切に！
   事前：過去問演習→　模試　→事後：誤答チェック・解答解説熟読

《　合格判定がより高精度！　　１０月記述模試を意識して受験しよう！　》

模試は１度で３回おいしい！！　・・・しつこいですが、今一度。

●1 回目ー　受験した当日～3 日後　（解き直しと自己採点）

ざっと見直して「正答だがあやふやだったところ」や「間違えたところ」を洗い出し＆自己採点の精度を高める。2013 年度の全国ﾃﾞｰﾀでは、6 月ﾏｰｸの時点で **90%超**の生徒が自己採点と実際の得点に**誤差**が！！自分が残りの数%だと確信できるかな??

●2 回目ー　受験後1 ～2 週間後　（解き直しと分野全体の対策）

１回目の復習ポイントを中心に、制限時間を短くするなどの工夫をしながら解き直しや見直しをして、知識を定着させる。普段使っている教材や参考書を利用しよう。

●3 回目ー成績表の返却時　（結果確認の際の4 つの観点）

①**上がった／下がった教科・科目に注目**：教科別の到達度を確認した後、発見した弱点教科の中でも、どの科目や分野を補強すべきかを把握し、学習の優先順位を立てる。

②**志望校への到達度と距離を確認**：目標まで「あと何点」必要かを具体的に確認すること。

③**受験に必要な入試科目を確認**：特に理科の受験科目に注意！！第１志望校の指定科目だけでなく、併願校を考慮した組合せになっているかを確認しよう！！

④**自己採点結果の確認**：模試受験直後に行った自己採点と、実際の得点との差がどれくらいか確かめる。センター試験本番で出願する際は、自己採点を参考にするからだ。誤差が出願にも影響を及ぼす恐れがあることを認識しよう！

奨学生募集のお知らせ第 10 弾

全学年対象　（9 月 8 日（木）にクラス掲示済み）

①一般社団法人　沖縄県教職員共済会　（給付型奨学金）

応募条件　困難な状況にも負けず強く明るく生活し、他の模範となるような活動をしている生徒で、学資の援助が必要と認められる生徒。

＊他の給付型奨学金を受けている生徒は対象外です。

応募人数　県内４５名　（校内より３名）

給付金額　５万円

希望者へ　書類を９月１２日（月）までに進路部に取りに来てください。

時間がありませんので、早めに来て下さい。

書類提出〆切り　９月１５日（木）